

報道関係各位

2022年3月23日

「すべてはこどもたちの笑顔のために」(証券コード 2749)

KAPLA®ブロック作品コンテストで 茗台育成室の児童の作品が入賞

子育て支援事業最大手 JP ホールディングスのグループ企業である株式会社日本保育サービスが運営する学童クラブ・児童館では、「なりたい自分になる力を育む」という育成理念のもと、こどもたちに様々な体験を提供しています。このたび、文京区茗台育成室（東京都文京区）では、カプラジャパンが主催する KAPLA®ブロックの作品コンテストに参加し、児童の作品が総数 972 作品の応募の中から、見事入賞しました。



【入賞した作品 『世界一大きい大都市』】

◆地域交流から大会参加に発展、こどもたちの創造力・想像力を育む機会に◆

茗台育成室が参加したのは、カプラジャパンが主催する第 8 回「児童館・科学館・美術館対抗全国 KAPLA 大会」の低学年作品部門です。茗台育成室では、日頃から近隣にある KAPLA®ブロック専門アトリエ「Centre KAPLA TOKYO」とイベントを通じて交流を重ねています。今回の大会は、「こどもたちに沢山の経験をしてもらいたい」という施設長の想いに共感したアトリエのスタッフから案内をいただき、参加に至りました。こどもたちは本番まで、育成室で毎日練習を重ね、当日は会場である「Centre KAPLA TOKYO」の店舗で作品作りに没頭しました。

今回入賞したのは、小学校 3 年生の児童 7 名で作り上げた『世界一大きい大都市』。複雑に交差する線路にモノレールを走らせ、近代的な街を表現しています。高低差のある線路を配置し、車両にカラーのブロックを使用して、立体的な作品を作り上げました。作品を作っている最中には、こどもたち同士で「ここはこうしよう！」「そのアイデアいいね！」とお互いの意見を尊重しながら進める様子が見られました。

受賞の連絡を受けたこどもたちは、「入賞できると思っていなかった」「嬉しい！みんなと協力してよかった」と大喜びで、受け取った賞状を見ながら「次は何を作ろうかな」と楽しそうに相談していました。



【表彰状と賞品】

こどもたちの嬉しそうな様子に、施設長は、「日々の地域交流がきっかけとなり、こどもたちにも普段とは一味違う体験をしてもらうことができた。今後も、こどもたちの創造力を刺激するようなイベントを提供していきたい」と話していました。

■KAPLA®ブロックについて■

フランスの造形ブロック「KAPLA」は、ワンサイズの板を重ねるだけで建物から動物までさまざまな形を自由に作ることができます。遊びの中で集中力や想像力など個の力と社会性が培われるフランス文科学省推薦教材です。

【カプラジャパン公式ホームページ】 <https://www.kapla.co.jp/>

JP ホールディングスグループは、「子育て支援を通じて笑顔溢れる社会づくりに貢献します」を経営理念に掲げています。当社グループの運営施設では、今後も、地域社会と連携しながらこどもたちに様々な体験を提供することで、地域とつながり支え合う施設として社会に貢献してまいります。

■株式会社JPホールディングスについて■

保育園・学童クラブ・児童館の運営を主軸に事業を展開している子育て支援の最大手企業(東証1部上場・証券コード 2749)です。運営施設数はグループ全体で303施設となります(2021年4月1日現在)。傘下に全国で保育園・学童クラブ・児童館を運営する株式会社日本保育サービスと株式会社アメニティライフ、保育園向け給食の請負などを行う株式会社ジェイキッチン、子育て支援施設向け英語・体操・リトミック教室を請け負う株式会社ジェイキャスト、保育関連用品の企画・販売などを行う株式会社ジェイ・プランニング販売、保育や発達支援に関する研修・研究などを行う株式会社日本保育総合研究所があります。

詳細はこちら(<https://www.jp-holdings.co.jp/>)をご覧ください。

【報道各位からの問い合わせ先】

株式会社JPホールディングス 東京本部

広報 IR 部 都志・牛田・筒場

TEL: 03-6433-9515 FAX: 03-6455-8032

MAIL: jphd_pr@jp-holdings.co.jp

<https://www.jp-holdings.co.jp/>